



2014年 6月20日
日鉄住金パイプライン&エンジニアリング株式会社

**「バックングレス全層自動MAG溶接法の開発」
一般社団法人 日本ガス協会 平成26年度技術賞受賞について**

日鉄住金パイプライン&エンジニアリング株式会社（代表取締役社長 浅井 武 本社：東京都品川区以下、日鉄住金P&E）は、エネルギーパイプライン建設において鋼管と鋼管を接続する周溶接の自動化による溶接時間短縮に取り組んで参りましたが、このたび、銅裏当ての不要な全層自動MAG溶接技術（バックングレス全層自動MAG溶接法 以下、本溶接法）について、一般社団法人日本ガス協会より平成26年度技術賞を受賞し、先日ホテルニューオータニで開催された同協会通常総会式典において、表彰を受けましたので、お知らせをいたします。

高圧ガスパイプラインの周溶接は管径600A以上の場合、接続部の管内面に銅裏当てをセットして行う全層自動MAG溶接が主流です。

しかしながら、500A以下の場合には銅裏当てが極めて困難な為、熟練溶接士が初層の裏波溶接を行ってから残りの層を自動MAG溶接で行っていました。そのため、作業に時間を要したり、溶接技能が求められるという問題がありました。

そこで今回開発した溶接法は、溶接士が初層の裏波溶接を行うことなく、全層を銅裏当てなしで自動MAG溶接することが可能な為、省力、時短、脱技能を同時に達成することが出来ました。

本溶接法は既に施工実績もあり、従来工法に比べて大幅な作業時間の短縮に成功しています。

今後は本溶接法も含め全国の高圧ガスパイプライン工事に、日鉄住金P&Eの自動MAG溶接の適用を拡大していく予定です。

今後も顧客のニーズを的確に捉え、技術・経験に裏付けられた提案力と技術力により、顧客からの高い信頼を得て社会に貢献し続ける必須の存在となるため、技術開発を継続的に推進しエンジニアリングの信頼性、効率性のさらなる向上を図って参ります。

※本件の具体的な技術内容は、別紙「バックングレス全層自動MAG溶接法の開発」をご覧ください。

【通常総会式典での写真】



【写真は取締役常務執行役員 宮下研】

[お問い合わせ先]

総務部総務室 090-4950-6765

以上